

1. 製品名及び会社情報

製品名： ベネジクト試液
 販売元： 株式会社 ウチダテクノ
 住 所： 東京都中央区新川 1-10-14 2階
 電話番号： 03-5657-4072
 F A X 番号： 03-5657-4082

2. 危険有害性の要約

GHS 分類： 皮膚腐食性・刺激性：区分 3 【国連 GHS 分類】
 皮膚感作性：区分 1
 生殖細胞変異原性：区分 2
 生殖毒性：区分 2
 特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)：区分 1(血液系、肝臓、神経系、腎臓、呼吸器)
 特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)：区分 1(血液系、腎臓、呼吸器) 区分 2(肝臓)

GHS ラベル要素

絵表示：
 注意喚起語：
 危険有害性情報：



危険

- 軽度の皮膚刺激
- アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ
- 遺伝性疾患のおそれの疑い
- 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
- 肝臓、血液系、呼吸器、神経系、腎臓の障害
- 長期又は反復ばく露による血液系、呼吸器、腎臓の障害
- 長期又は反復ばく露による肝臓の障害のおそれ
- 水生生物に非常に強い毒性
- 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き：

【安全対策】

- 適切な保護具を着用すること。
- この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
- 使用後はよく手を洗うこと。
- 環境への放出を避けること。

【応急処置】

4. 応急処置を参照。

【保管】

7. 取り扱い及び保管上の注意を参照。

【廃棄】

13. 廃棄上の注意を参照。

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外または分類できない。

3. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区分： 混合物
 化学名： ベネジクト試液

	硫酸銅(II)五水和物	炭酸ナトリウム	くえん酸三ナトリウム二水和物
成分及び含有量：	1.73w/v%	約 10w/v%	約 17.3w/v%
化学式及び構造式：	CuSO ₄ · 5H ₂ O	Na ₂ CO ₃	C ₆ H ₅ Na ₃ O ₇ · 2H ₂ O
分子量：	249.69	105.99	294.10
官報公示整理番号 (化審法)：	(1)-300	(1)-164	(2)-1323
CAS No.	7758-99-8	497-19-8	6132-04-3

危険有害成分：

- 硫酸銅(II)五水和物
- 労働安全衛生法 通知対象物 政令番号 379
- 化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法) 1-272 (Cu : 0.44%)

4. 応急措置

吸入した場合： 直ちに被災者を新鮮な空気のある場所に移動させること。
 気分が悪い時は、医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合： 速やかに大量の水と石鹸で洗い流すこと。
 皮膚刺激、発疹が生じた場合は、医師の処置を受けること。

眼に入った場合： 清浄な水で 15 分以上注意深く洗う。
 コンタクトレンズを着用していれば外し、洗浄を続ける。
 刺激が持続する場合は、眼科医の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合： 直ちに口をすすぎ、うがいをし、医師に連絡する。
 多量の水を飲ませ、指を喉に差し込んで吐かせる。
 意識がない時は、無理に吐かせない。
 気分が悪い時は、医師の診断、治療を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤： 本品は水溶液のため難燃性である。
 周辺火災に応じた消火剤を使用すること。
 粉末消火剤、二酸化炭素、散水、噴霧水、泡消火剤

特有の消火方法： 火災の場合には散水する。
 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

特有の危険有害性： 火災によって刺激性、有毒性のガス、ヒュームを発生するおそれがある。
 消火を行う者の保護： 適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	： 漏洩区域は、関係者以外の立入りを禁止する。 風上から作業し、ミスト、蒸気、ガスなどを吸入しない。 蒸気が多量に発生する場合は、水噴霧し蒸気発生を抑える。 密閉された場所に立入る時は、事前に換気する。
環境に対する注意事項： 回収、中和：	河川、下水道、土壌に排出されないように注意する。 漏洩物は、ウェス、雑巾または土砂等に吸着させて、容器に回収後、アルカリ剤で中和し 廃棄処分する。 後処理として、漏洩場所は消石灰などのアルカリ溶液で中和した後、多量の水を用いて洗 い流す。
二次災害の防止策：	事故の拡大防止を図るため、必要に応じて関係機関に通報する。 周辺の発火源を速やかに取除く。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策：	ミスト、蒸気、ガスの発生を防止する。 本製品を取扱う場合、必ず保護具を着用する。 換気装置を設置し、局所排気又は全体換気を行なう。
安全取扱い注意事項：	容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。 使用後は容器を密閉する。 取扱い後は、手をよく洗うこと。 本品を使用するときに飲食、喫煙をしてはならない。 湿気、水、高温体との接触を避ける。
保管	
適切な保管条件：	直射日光や高温高湿を避ける。 乾燥した換気のよい場所で密閉して保管すること。
混触危険物質：	強酸
安全な容器包装材料：	ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレン

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：	取扱い場所の近くに、目の洗浄および身体洗浄のための設備を設置すること。 ミスト、蒸気が発生する場合、換気装置を設置する。
管理濃度：	設定されていない
許容濃度	
ACGIH (2010年版)：	設定されていない
日本産業衛生学会 (2010年版)：	設定されていない
保護具	
呼吸器の保護具：	防塵マスク
手の保護具：	保護手袋
眼の保護具：	保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具：	長袖作業衣。必要に応じて保護面、保護長靴を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

形状：	液体
色：	青色
臭い：	無臭
pH (20℃)：	アルカリ性
沸点：	約 100℃
引火点：	難燃性の為、危険性は低い。
爆発範囲：	難燃性の為、危険性は低い。
蒸気圧：	データなし
比重：	約 1.18
溶解度	
溶媒に対する溶解性：	水に自由に混和する。
オクタノール/：	データなし
水分配係数 Log Pow	
自然発火温度：	発火性なし
分解温度：	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性：	通常の取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性：	強酸と反応する。
避けるべき条件：	加熱、日光
混触危険物質：	強酸
危険有害な分解生成物：	火災時の燃焼により、銅酸化物、一酸化炭素、二酸化炭素の有毒ガスが発生する。

11. 有害性情報

本製品のデータがない為、硫酸銅(II)五水和物、炭酸ナトリウム、くえん酸三ナトリウム二水和物を参考。

急性毒性	
経口：	区分外
経皮：	データなし
吸入 (蒸気・ミスト)：	データなし
皮膚腐食性・刺激性：	区分3
眼に対する重篤な損傷・刺激性	区分外
呼吸器感受性：	データなし
皮膚感受性：	区分1 (アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ)
生殖細胞変異原性：	区分2 (遺伝性疾患のおそれ)
発がん性：	データなし

生殖毒性： 特定標的臓器・全身毒性	区分2（生殖能または胎児への悪影響のおそれ）
単回ばく露：	区分1（肝臓、血液系、呼吸器、神経系、腎臓）
反復ばく露：	区分1（血液系、呼吸器、腎臓） 区分2（肝臓）
吸引性呼吸器有害性：	データなし

1 2. 環境影響情報

本製品のデータがない為、硫酸銅(II)五水和物、炭酸ナトリウム、くえん酸三ナトリウム二水和物を参考。

水生環境急性有害性：	区分1
水生環境慢性有害性：	区分1

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物：	<p>関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄する。</p> <p>廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。</p> <p>都道府県知事などの許可（収集運搬業許可、処分業許可）を受けた産業廃棄物処理業者に、産業廃棄物管理票（マニフェスト）を交付して廃棄物処理を委託する。</p> <p>廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。</p> <p>本製品を含む廃液及び洗浄排水を直接河川等に排出したり、そのまま埋め立てたり投棄することは避ける。</p>
汚染容器及び包装：	<p>容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。</p> <p>空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。</p>

1 4. 輸送上の注意

国連番号：	3082
品名：	環境有害物質(液体)
海洋汚染物質：	該当
注意事項：	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

1 5. 適用法令

消防法：	非該当
毒物及び劇物取締法：	非該当
労働安全衛生法：	<p>名称等を通知すべき有害物 (政令番号 第 379 号「銅及びその化合物を 0.1 質量%以上含有するもの」) (法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9)</p>
船舶安全法：	有害性物質
航空法：	その他の有害性物質
化学物質管理促進法（PRTR 法）：	<ul style="list-style-type: none"> ・種 別 第 1 種指定化学物質 ・政令番号 第 272 号 ・政令名称 銅水溶性塩

1 6. その他の情報

- 参考文献：
1. 化審法既存化学物質ハンドブック（第 4 版） 化学工業日報社（1986）
 2. GHS分類マニュアル GHS関係省庁連絡会議編（2006）
 3. 化学大辞典共立出版（1991）
 4. 安衛法化学物質（1991）

本データシートは試薬に関する一般的な取扱いを主に記載しており、試薬以外としての取扱い及び大量取扱いに関しては考慮されていない場合があります。また、現在での最新の情報を記載しておりますが、すべての情報を網羅しているものではありません。

新たな情報を入手した場合には追加又は訂正される事があります。

記載されている値は、安全な取扱いを確保するための参考情報であり、いかなる保証をなすものではありません。

特殊条件下で使用するときは、その場の使用環境に応じて安全対策を実施して下さい。